





牧 ノ 戸 峠 に て (青少年体験登山大会) (7月20日)

ス ア ド に C (育少平体験豆田八云) (1万20日)

明が悪く参加者が(二三名)と少なかった。今年はその経験から、青少年が活動行いやすい夏休み最初の日曜日の七月二〇日(海の日)に実施することにした。 一般参加者六八名、会員・会友一七名、総勢七五名の申し込みであった。JR大分駅時計台前に午前七時集合、今日の天気予報では曇り一時雨の予報だった。本来ならばこの時期梅雨は明けて、太陽が燦々と輝く時期であるが梅雨末期の特有の天気である。昨夜のテレビニュースでは、JR博多駅の構内が冠水、電車がストップするという事態になっていた。大分市街地ではその気配はない。事態を想定してか直前にキャンセルの連絡が入ったのは一〇名であった。結局、時計台前で受付け集合した参加者は六五名であった。 二台の大型バスに分乗し、計画の出発時間を二〇分ほど遅れて七時三〇分にJR大分駅前を出発した。

曇っていた空が、朝霧台あたりで霧雨となりとうとうバスのワイバ

山系が見えるエルランチョグランデ辺りをす

が動き出した。

イレ休憩一五分ほど行い、やまなみハイウエィに入った。これまで

バスは国道二一〇号線を牧の戸峠登山口に向う。

途中水分峠でト

# 界二回青少年体験登にたたられた

### もくじ 第2回青少年体験登山 沓掛山まで 1 沓掛山より先へ 2 鳴子山へ 3 3 市房山・江代山 山行報告(九重嵐山縦走) 4 5 足腰が衰えても登れる山 私の無名山ガイドブック個 6 オススメ映画 6 7 お知らせ 7 後記 平成15年総会と東京

南

寿

範

降りとなった。 ぎたころから雨は激しくなり本 バスは九時〇五分登山口の牧

の戸峠登山口着いた。

って一番奥の、一般車用のスペ ていた。大型バス用の駐車スペ のせいか半分位一般車でうまっ ースに縦列駐車して停止しても ースがないので一般車の間を縫 牧の戸峠登山口駐車場は、

の中で出発の準備(雨具着用) 歴史等話された。その後、バス の主旨」および久住山の登山の 部長が「歓迎の挨拶並びに今回 加者は一号車に集合し、 ハウス横に集合。全員で記念撮 、とりあえず牧の戸峠レスト 相変わらず雨は降り続く。参 梅木支

年参加者とに分けた。 C班は高校生を中心とする青小 把握がとても難しいので、参加 加者、 B班は 中高年齢参加者、 小学生以下の子供とその家族参 友を各リーダーに、A班は主に 出発することにする。会員・会 者をA・B・Cの三班に分けて 中、団体で行動するのは人数の 七〇名近い参加者をこの雨の

とは非常に難しい。とりあえず 行くことにし出発した。 って目標の沓掛山 (1503m) まで 人数確認後リーダーの指示に従 は全員を久住山の山頂へ導くこ 雨足は依然強い、この状態で

> らに一〇分ほど進み沓掛山(1503 るが、風と雨が激しくなり、さ

声が聞かれる』と思っていたの に残念である。 ととした。『全員の山頂での歓 あたりまでを目標に先に進むこ 望者で、装備等がしっかりして ことにした。またB、C班は希 を見て、全員のここで引き返す 半だけのビニール合羽など)等 いる人のみ、山頂又は久住別れ の装備の状況(スニーカーや上 ろで、A班は悪天候と、参加者 三班全員沓掛山に揃ったとこ

自然が体験出来たのではないか は、少なからず『くじゅう』の たがこの施設を見学出来たこと

で、それを見送り、霧が晴れて 山頂へ向かう組は総勢二四名、 (沓掛山頂にて)

山道を約三〇分登り、稜線に出

コンクリートで舗装された登

状態、早速雨具を外しバスの中 で昼食を摂るる事する。 ハウスに着く。全員ずぶ濡れ 山にかかる。 十一時二〇分、牧の戸峠レス

をしばし楽しんだ後、

代的な建物になっていた。 く比べようにならないくらい近 あったビジターセンターとは全 ことにした。長者原ビジターセ で移動し、センターを見学する のビジターセンターへバス一台 時間がありすぎるので、長者原 ころに新築されたもので、以前 ンターは、平成九年に現在のと 山頂へ向かった組を待つには

きるようになっていた。(子供 から大人まで楽しめる施設) 像などでわかりやすく紹介して ようすを模型・標本・写真・映 おり、四季折々の自然を体験で 山頂の眺望が体験できなかっ ここでは、くじゅうの自然の

なしでは歩けない状態だった。 向かう。JR大分駅前到着は ターセンターを後にし、大分へ と合流し、一四時一〇分、ビジ 六時一〇分で、駅前も大雨で傘 雨の中の体験登山となりまし 長者原で、山頂へ向かった組

る久住山頂など、雨の中の景色 そして肥前ガ城の稜線の上に小 遙か向こうに扇ガ鼻や星生山、 さな三角形のピークを見せてい 残留組は との話も聞いています。 のグループの中には、普段それ います。山頂に向かった高校生 たが、これも一つの体験だと思 山を通じて互いの友情が生まれ ぞれ違う学校通う中で今回の登

事に終了したこと感謝していま す。お疲れさまでした。 今回の登山大会が事故なく無

# さらに先

重 康夫

事沓掛山頂について、西さんお できた。 きまりのバンザイ三唱と握手が ってくださり、小学生たちが無 野村先生がトップを着実に切

と帰るものとが別れることにな る気配はない。ここで進むもの しかし、雨はいっこうに収ま 土砂降りではないが、しとし

うれしかった。 先へ行こうと言ってくれたのは いていることである。 ら久住山頂まで位の見通しが利 なに強くないことと、沓掛山か と雨でもない。救いは風がそん 沓掛山頂で、かなりの人たちが こんな悪天候ではあったが、

合ったとき、 正直言って、バスの中で話し 温泉に入りに行こ

内心危惧していたのである。 みんな山が嫌になるのでは、と ろうか、そして登るというと、 うという話になるのではないだ それだけにふたを開けてみる

うことになった。自分達で戻れ り疲れたと言うことで戻るとい は嬉しく、希望しただけあって、 に戻ってくれるということで、 くわけにもいかないので、 るとは言っていたが、ほってお の若い女性のうち、一人がかな 皆の足取りも良かった。 二人 んの指示を待った。 最後尾からきている西あずささ と、積極的に参加してくれたの 程なく来たあずささんが一緒

年配の男性一人が、扇が鼻の方 最近解禁になった星生山を回り 聞いて行っていただいた。また 悪路というほどではなかった。 たいという高校生も二名見送っ しておられたので、お名前だけ に行くと言われたが、しっかり 道は少しぬかるんでいたが、

みなしっかりした足取りで、 歩きには程遠い状態だったが、 んでいった。 はっきり見え出した。快適な山 西千里に入ると、久住山頂も

それ見送りながら腹ごしらえを 山頂まで頑張るということで、 府高校と鶴崎工業高校の五名は れで引き返すこととなった。豊 いうことだったので、久住分か 二時までには牧の戸へ戻ると

り少し寒くなった。 りてくるのを待って、戻ること 星生山へ回った高校生二人が降 にしたが、じっとしてるとやは 参加者を先に発たせて我々は

反省した。 りの記録を見て気づいた次第で、 ないままだった。降りて着信あ でマナーモードにしていたまま 携帯に状況を聞く電話をくれた かったろうか、飯田さんが私の で戻すのを忘れたので、気づか ようだ。しかし私はバスのなか 久住分かれに居るころではな

追いついたのは、あの嫌なアス を先頭に快調に飛ばした。皆に であった。 ファルトの下り坂に入ってから いぶ遅れていたので、佐藤先生 牧の戸では、梅木会長、飯田 帰りは、先発した参加者にだ

迎えてくれた。 さん、あずささん他の皆さんが、 かわらず、そこそこに満足な顔 をしておられたことが大きな収 行った方は天気の悪さにもか

他の会員の皆さんはどう思った のではと考えたのですが、 という人はそんなに居なかった 穫であった。 「次回は絶対参加したくない」

## その1

### (五月月例山行報告)

### 正

に位置取り駐車した。 りとなる。四台の車はそれぞれ 奥へ入ると車はそこで行き止ま 展望台より五〇〇メートルほど 予想どおりの雨、久住沢水の

めたであろうが、薄暗い雑木林 るも雨とガスの中、天気ならば 平(七時二〇分)に着いた。水 ると標高千二百メートルの出水 ラの林を一時間ほどくねくね登 気に登りになり、ブナやミズナ の登山者で、平均年齢は我々よ いだろうと思いきや、後方から うな物好きなチームしか登らな しかもこんなコースは我々のよ の中である。こんな天気の悪い、 雄大な草原と祖母、傾の峰を望 の補給をするものは最後の水場。 に出発。小さい沢を横切ると一 人の声が聞こえる。北九州から 早速雨具をつけて六時三四分 小岩混じりのガレ場を直登す

我々は遅い朝食(午前九時)を トラバースの手前で追い越させ ガレ場を過ぎた、段差のある

登山路としては一枚岩があっ

みずみずしいピンクになごまさ 色をしたミヤマキリシマの小株 ないものの、結構ダイナミック が見える。なんと素晴らしい! かけると、その先にあざやかな で楽しい。濡れた岩の先に手を ッククライミングとまではいか たり、その岩をよじ登るのもロ

岩塊群が北西に突き出している。 える。渦巻き状にさらに進み、 酔木の木に囲まれていくつか見 に五〇メートルほど登る。稲星 部に近づくと大きな岩の塊が馬 ップダウンしながら進む。頂上 に分岐する小さな道を、緩くア 山の東肩の稲星別れに出ると右 頂上直下を右にまいて、さら



角点はない。一〇時三十五分到 そこが鳴子山の頂だが、三 (白口岳山頂にて)

は十一時十五分。強い風と深い ガ窪、前方に大船山がどっかと 着。天気が良ければ眼下に佐渡 れから白口岳へ向かう。山頂着 えるところだが、霧雨で眺望は 見え、途中の稜線には小池も見 霧の中で、何とか集合写真を撮 全くだめであった。 五,六分で引き返し、稲星別

けて下る。鍋割坂を下り、朽網 ているのには驚いた。十二時五 場に下った西、阿部、遠江を迎 雨具を脱いで、朽網別れから牧 脚組の飯田、八重、石川が到着。 に戻る。数分もしないうちに健 別れを経て展望台上部の駐車場 と安部は一足先に佐渡ガ窪へ向 いが窪地で速やかに昼食を摂る。 十五分、鉾立峠に到着。風が強 って一気に降りたが、道の荒れ 十三時二十分、小雨の中を私

流れ解散しそれぞれに帰途につ えに車を走らせる。 ってくる三名と合流し、そこで 十六時三十五分に牧草地を下

参加者:安部、飯田、 遠江、西、 石川、 八重 佐



水嶺の山その2

### (六月月例山行報告)

### 中

白口岳からは、鉾立峠へ向か

原から県道栢木野津原線(奥産 ら国道四四二号線に乗り換えて スカイライン)に乗る。途中か 発。一行は三人で車一台。明磧 国道五七号線に合流。 橋を後にして、母の故郷の野津 六月二十一日午前 一時大分出

取り戻すべくビールの配達に先 生を指名する話となる。 かくしていつもの様に?理性を 機の名に恥じないものとなる。 までは足も口調も軽快だったが、 付く。五時二〇分発だ。二合目 伐採と林道の狂想曲に雑音発生 ととなるひえつき節発祥の地だ。 ノ口の登山口から市房山に取り す。ここは帰りに昼食をとるこ ンネルを抜け、椎葉ダムを目指 キー場入り口を流し目に国見ト 麓に出る。高森経由で五ケ瀬ス 国道二六五号線の西米良、槇 波野駅を横目に根子岳の東山 3

先生に連絡をとる。携帯電話が が限界だ。八合目の手前で安部 まだ自宅にいた。山頂ピストン 活躍する番だ。時刻は八時前、 七合目小屋はかび臭い。三分

と快諾を得る。 岩へ縦走したいので迎えを頼む の予定であったが変更し、ニッ

見せる。市房山の花は「梅の花 歓迎してくれた。ツクシアケボ とその雄姿をを見せびらかせて 霞の中、石堂山と天包山が堂々 感じ、ここだけはお薦めできる。 先客の中年のお二人さんが笑顔 九時になる前に山頂に着いた。 モドキ?」かなと思った。 ノツツジは、可憐な姿を時折り いた。九合目の恵ノ泉は一行を 八合目は草原の散歩のような

森千里ちゃんの歌が聞こえてき おきまりのビールで乾杯?高 (市房山頂にて)

アップダウンの健脚向きコース そうな感じ。 ニッ岩への縦走はヤセ尾根の

> ドブックもある。 稜線漫歩気分で行ける楽なコー だ。(Iは軽いアップダウンの の日には危険だと書いてるガイ スと言っていたが・・・。)雨

備された道で、心地よい下りが 携帯電話のベルで起こされる。 ここからは良く切り開かれ、整 着。三十分近く仮眠していたら して、十一時半前に二ツ岩に到 九時四五分に市房山頂を出発

ダムが見え、その横に大分ナン 生がビール瓶を片手に待ち構え が満ちた空間を横切る。 岡の青年が、笑顔で麦酒の香り メラマンをつとめた単独行の福 頭に浮かぶ。山頂と二ツ岩でカ んだ?」というコマーシャルが ていた。「あいつ何考えている ーの四駒車が見えると安部先 木のトンネルの向こうに砂防

くまで宴会は続く。 いな炊事場の屋根の下で、夜遅 ぎから降り始めた雨の中、きれ 今宵は四人の貸し切り。四時過 湯山峠の矢立高原キャンプ場へ。 槇ノ口登山口の車を回収し、

先生は傘を片手に張り切ってい 中の登山ははじめての体験だ。 登山口の確認に出かける。雨の 五時半ごろ、先生はひとりで

九重連

Щ

縦

走

度か水量の増した沢を横切る。 の民家の横から雨の中を出発。 九時に稜線上に出て、一〇分ぐ 林道の終点から山道に入り、 矢立開拓の最奥

> 彼らも馬口岳に行く予定だった た佐世保ナンバーの四人と山頂 らいで山頂に着く。先行して 開始。十一時前に車に着く。登 直下であいさつ。晴れていれば て、三〇分くらい休憩して下山 ルで乾杯。馬口岳は止めにし ポンチョのタープ?の下でビ

飲むこと即ち人生というアルコ 場者はバンカラタイプの安部先 りは二時間で下りは一時間。 年?でした。 生と、植物など博学の飯田さん 食とビールの昼食で終幕へ。登 ル星人?自称永遠の野生少 上椎葉市街地?でシシ焼き定

参加者:安部、 飯田、 中野、



星 子 貞 夫

まれたので、いつものトレール 期日:一〇月二八日 ヘッドは中止して、牧の戸峠か 加者一星子、池辺、村上 雨のため増水で渡渉があやぶ

> 半月が時々顔を出す三俣連山を のにつく。老年の私は過去最低 この頃より太陽が時々顔をだす。 ら一般道を先ず久住山にのぼる。 行えば鬼神もこれをさく。 の一時間三〇分であった。池辺 歩きにくい。ここで村上氏が記 かった。三俣山の道は滑って、 こまで一人の登山者にも会わな 迷う事もなく大船山頂につく。 は小木が生えて、歩きにくくな ガレ場の入り口につく。ガレ場 されて迷うこともなく、大船山 服する。立中山は登山道が整備 白口と順調に進み、鉾立峠で一 ゼロで強風の中、中岳、稲星、 ガスで視界はゼロである。視界 から吹き付ける風は 30m/s 位で ピンカーブに下山する。断じて ライトを頼りに横断道路のヘヤ さんがエスコートしてくれた。 録に挑戦し五〇分で東峰 は割愛して坊づつるにくだる。こ この時期日没が早いので平治岳 する合間を縫って、天狗に登る。 っている。登山道整備のお陰で しばし耐風姿勢で耐え、風が息

同東峰↑9:18ヘヤピンカーブp 中山↑12:01鉢窪枯谷(休憩点) 白口岳↑10:40鉾立峠↑11:13立 8:48中岳↑09:17稲星山↑09:58 避難小屋(くじゅう分かれ)↑ ↑16:35三俣山東峰直下↑17:23 08:01久住山↑08:36天狗ガ城↑0 記録:05:42牧ノ戸峠発↑ 07:18 ↑13:55大船山↑15:30坊がツル

子さんからいただいたものです。 K I

間口一間、奥行き三間、発券機 手もない店と思うほど、飾り気 常に満員である。大分では入り 猫舌はこまる。このせまさに、 が二分待ちぐらいで出てきた。 を出せば、二五〇円の素うどん 奥の一坪ほどの調理場窓口へ券 員である。セルフサービスで、 横を通り、食堂へ入る。後ろの よりの入口近くのうどん屋で。 地図店で油売り、昼食は駅聖橋 け、お茶の水へ。三省堂と内外 議用の支部総会資料と会報を届 時半アパート着。一七日、グリ ット保険付きで出発。午後一〇 最終羽田行き、九三百円のチケ 席はおまけである。五月一六日 人と背中合わせ、四人入れば満 ーンホテル水道橋へ。支部長会 長男穂高の様子見で、

議中。大塚会長の最後の記念写 総会会場へ戻れば、支部長会

の行事である。 本年度事業計画も七十項目以上 文部科学省よりランクが4Aだ 本年度予算と会計監査報告とも 祷により始まり、前年決算報告、 会開会。物故会員五三名への黙 真撮影の中に入り、午後二時総

の約束をした。 がそこへ見え、東九州の方と言 然と同じ場所に集まる。新会長 会費で懇親会、九州の会員は自 嬉しかった。総会後、三千円の 大学教授、工学博士とある。年 って名刺をいただく。日本文理 一回来分と聞き、お見知り会い 役員改選で、平山善吉氏が会 へ、重廣恒夫新評議員で内心

衛隊の中に三角点があり、電話 さがし。聴くと、「その山は自 県一の山へ登るため、千葉県人 りである。立食も大盛り皿にな 知人探しへ。どこも会話の花盛 しないと入れてもらえない。」 くなるころ、ふっと明日の千葉 私は、フルーツとジュースで

の頭で神輿は見えず、 で、一八日は祭りに行けど、人 草のお祭りに行けば・・・。」 すれば係の人は居ないという。 せてくれた。しめしめ、と電話 山の話をすると電話番号を知ら が、土曜日で閉門中。守衛に登 い。」「大分からです・・ 「明日はだめ、またおいで下さ 子供のところに帰ると、「浅 帰りに市ケ谷の防衛庁に行く 」は役にたたず。 雷門にも

> リカ、出土品二百四十五点程を 列の前を次々と進む。油断をす 割引きもなく一、三〇〇円、陳 神秘の王朝解説書を手に、古代 眺めて、ビデオの説明会場で二 おされて会場を次々と移る。コ ゆっくりもできず、おされて、 れば人が入り、見えなくなる。 本日が最終日である。シルバー 入り口に行けば『マヤ文明展』 レーライス孝子流で夕食をすま すばらしさに酔い痴れつつ、カ とつかれが出て、うつらうつら、 パン王朝の歴史と実物大のレプ 近づけず。方向を変えて上野の 十分間椅子にかけ、この時どっ 人の想像をしながら、創造力の 一回見て外へ。『マヤ文明展』

あり・・・と。 解説書に鹿児島、宮崎と展示会 無事我が家へ。『マヤ文明展』 十八日羽田発十四時二十分、 大分はなぜ・・



部 可 人

八十歳になって山を始める人

える。老人向けの「大分百山」 る。名著「大分百山」の中の最 を、地図をそろえて準備してい ぐ行けるように、楽に登れる山 ともある。私は思いついたらす とは登山口が分からぬというこ が欲しい。頭が働かぬというこ くのはみっともない。老人が増 老人が牧ノ戸峠あたりをうろつ ずである。でも昔のようには足 ている人は八十歳でも登れるは はまずいない。若い時から登 三つの山を事例にあげたい。 近家内と歩いた、私も初めての 腰が働かぬ。頭も働かぬと思う

### 御許山

静かで心地よい。家内も機嫌が り。後は五〇分ほど楽なハイキ めてすぐに大元神社の大標識。 の集落、一軒別荘あり。 歩き始 道を行き止まりまで上る。山口 神宮まで行ってしまった。舗装 口)だが、通り過ぎて私は宇佐 りついたところが正覚寺(登山 キロほどいくと坂道を下る。下 する由布岳がよく見えた。)五 神山登山口があり、ストーンサ ークルみたいに石が立っている。 佐田温泉を過ぎるとすぐ右に米 像)を右に入るとすぐに左へ。 佐田(三叉路に変な老人の座 ング。田舎の裏山を歩く気分。 (なるほど、大昔ここから噴火 〇分ほどスギ林のちょっと登 (杖あり)ここから入山する。 速見ICから安心院へ向かう。

> よかった。 (一〇月二四日、

ない。家内は腹が減ったと、人 についた。(実は彼のマーチは 刺鉄線の柵のある支尾根の鞍部 楽しく五〇分のハイキング。有 いて出発する。二米幅の林道を ろは広く、標識あり。駐車可。 をつけながら、上りついたとこ 多い。ゆっくり運転するとあの 実地で登山口を教えてもらって 州百名山を完踏した石川氏から がなかった。今回大分百山、九 分からず、この山は登ったこと 食いつつ何とか展望台にたどり の悪口を言いながらヨーカンを てみた。)困ったなあ、 で一〇分かかると分かった。 ら三〇分の急登。さらに頂上ま ここまで上ったのだ。)ここか ていたので、弁当は車の中に置 頂上まで三〇分と、彼から聞い 柿色の案内板が見える。すぐゲ いた。湯平から右へ入る林道は ートを通過し、タイヤに牛の糞 (藤田晴一「大分の山」をあけ 実は恥ずかしながら登山口が

も下から見ている姿と違ってい いから、 花牟礼山の東斜面の紅葉が美し 草の斜面が登れようか?柵から た。私も八十歳になったらあの 人で頂上へ。花牟礼山はいつ 来ても良いと思った。

### 葉には早い)

紅

着いた。そしてがんとして動か 、弁当が

K I

(一〇月二七日)

私は一〇年後この坂を登れよう ここで引き返すがよい。山頂ま ち葉で道は全くない。振り返り 五歳のベテラン老人と会ったが 家内はあえぎつつ、三〇もかけ は捨てるがよい。もう途中を楽 で行くという昔の悲愴な気持ち 々として気持ちがよい。老人は るやかな登り。紅葉の樹林は広 二一mのピークまで二〇分のゆ おく。赤いテープを見ながら九 柿色の案内板がついている。落 ところが女郎の墓。近くにあの 標識は見当たらず。上りついた て頂上にたどりついた。当日六 九〇mの標高差の急坂にかかる。 ずだ。このピークを少し下り、 しむ登山の心境に達しているは つつ八七六mの山を目印にして 木浦鉱山から大切峠へ。峠

葉書が返ってきた。 の親友に当地を推薦したら一句 くだけで満足できよう。同年代 晴らしかった。このあたりを歩 なって、一一月八日、紅葉は素 女郎の墓あたりは遊歩公園と

「廃鉱や女郎の墓の夕紅葉」

さんからいただいたものです。 (この原稿は昨年十一月に安部

# 私の無名山ガイドブック心

### 飯田勝之

# 西河内山(至10.1m)、河内奥山(至11.7m)、

峰の連なりで、最低部で三四〇 **峯など、名前の付けられたピー** 名峰を歩いてみよう。 なところではない。しかし稜線 では登頂意欲をそそられるよう らかな起伏の稜線は、見た限り という、さほど高度差のない柔 クがあるが、ほとんどが無名の 合流している。その間には石草 轟峠を経て場照山で県境稜線と のうちの一つで畑野浦西方の無 のどかな山歩きを楽しめる。そ 特有の照葉樹林が残っており、 付近はいたるところに県南山地 mの轟峠から最高部で五九〇m 元越山から始まる佐伯市と南

国道三八八号線を蒲江から佐伯に向かって入津湾に沿って走るやかな起伏を見せ、屏風のよるやかな起伏を見せ、屏風のよるやかな起伏を見せ、屏風のよるやかな起伏を見せ、屏風のよるやかな起伏を見せ、屏風のよるやかな起伏を見せ、屏風のよるやかな起伏を見せ、屏風のよるでかる。地図には畑野浦かられている。地図には畑野浦かられている。地図には畑野浦からたの。三面)という名が付けられている。地図には畑野浦の西方にゆっている。地図には畑野浦の西方にゆる。

之 家のはずれをコンクリート舗装 破線の道であるがその道はやが と林道が途絶えて、沢沿いの踏 が見え、さらに一五分ほど行く 道を少し行くと右手に砂防ダム るが、ここを登山口として右の 装がきれると道は二つに分かれ を西河内に向かって進むと、民 てほとんど判然としなくなる。 みあと道となる。地図ににある 軽自動車なら楽に通れそうな林 そしてスギの造林地に入り、舗 の狭い道が谷沿いに続いている。 けば間違いはない。傾斜が次第 しかし忠実に沢沿いに登ってい 谷沿いの道を進むことにしよう。

を直登するかたちとなる。そう るが、ほぼ直線的に一番大きな あたりから上は谷はなくなり、 岩壁が見えてくる。真ん中はチ かっては薪炭林として幾度とな ばかりが目立つこの斜面一帯は、 谷を登るのがよい。ツバキの木 ただひたすら照葉樹林の急斜面 バキの急斜面をへつれば岩の上 である。その少し下の方からツ になり、ザイルが欲しいところ をよじ登れるがザックがじゃま ムニー状に掘れていて、その中 層急になりやがて前面に大きな の跡も点々と見られる。谷が一 く切られた跡を残し、炭焼き釜 幾つかの谷が途中で分かれてい 大きな石の多い谷を登っていく。 に急になると沢は枯れてきて、 して二十分ほど登ると、 に回り込むことが出来る。その

> えの道が横切っているところだ けだ。山頂のすぐ手前には何か ある稜線は、立派に切り開かれ ない。佐伯市と蒲江町の境界で らコウモリが住んでいた。 根の小屋があり、ドアを開けた か分からないが朽ちたトタン屋 の儀式の為か、あるいは造林用 ひっそりと四等三角点があるだ こが河内奥山だ。照葉樹の中に 分ほど行くと、鈍頂に着く。こ するほぼ平らに近い稜線を二十 ある。ゆったりとアップダウン て、快適な照葉樹林の散歩道で が、それらしいものは見あたら こらあたりが地図にある稜線越 カーブする鈍頂を通過する。こ ず右に河内奥山を目ざそう。小

伐開広場があり、 が西河内山である。赤松が点在 河内奥山から一時間弱で、ここ いくとやがて丸い鈍頂に着く。 稜線は続き、ゆったりと登って ずかに西向きにカーブしながら 高点だが名前もなく三角点もな 林のこの頂が元越、場照間の最 西がヒノキの人工林、東が天然 ると五九〇mの標高点である。 急な登りがやっきて、登りつめ 南へ進む。緩い下りの後、少し たところまで引き返し、さらに し、灌木に覆われた中に小さな てほぼ平坦な稜線道に戻る。わ んどん下り、五三〇mまで下っ い。ここから少し急な下りをど 山頂から一旦稜線に登りつい 真ん中に三等

> ある。 は、そこから先はいきなり猛が、そこから先はいきなり猛が、そこから先はいきなり猛たが、そこから先はいきなり猛までは快適な稜線漫歩道であっまでは快適な稜線漫歩道であっ

分ほどで、朝通った砂防ダム付 いはない。稜線から一時間二〇 向に低い方へと下ればほぼ間違 道が見つからなくてもやや左方 あと道も見つかるに違いない。 れ、やがて沢沿いに小さな踏み し緩くなり、スギの造林地が現 下ること一時間ほどで斜面も少 立ち上っていたであろう往時を 見上げたら山のいたる所に煙が 跡が残っており、海岸の里から 途中にはいたる所に炭焼き釜の が確実に登山口近くに出られる。 よりにトラバース気味に下る方 どん下を目指す。やや左(北) でも続く小石の急斜面を、どん ヤブこぎの心配はない。何処ま しのぶことが出来る。稜線から

近の林道に出ることが出来る。

参考タイム 登山口→〇:二〇

→林道終点→二:一〇→主稜→

○:二〇→河内奥山→〇:二〇→西河→五九〇m峰→○:三○→主稜からの下降地点→一:二○→林道→○:三五

野浦 二五〇〇〇分の一 畑



### 「**おばあちゃん** マススメ映画

西 あずさ

孫のサンウは、おばあちゃんも田舎も大っ嫌い!都会で育ったサンウには、田舎は退屈で、友達はいないし、テレビは映らないし、ケンタッキーは無いし、ケンタッキーは無いし、ケンタッキーは無いし、ないし、ケンタッキーは無いし、ないし、ケンタッキーは無いし、ないし、カンタッキーは無いし、ないし、おばあちゃんの耳が不自由なことをいいことに、散々悪口を浴びせた上に、とに、散々悪口を浴びせた上に、とに、散々悪口を浴びせた上に、とに、散々悪口を浴びせた上に、といる。

無く、おばあちゃんの生活は淡 やわがままに振り回されること かサンウの希望をかなえてあげ サンウを責める事は無く、何と がスプーンになったりしますが、 で水を汲みに行ったり、髪留め 々と送られます。ただし、素足 ようとします。 それでも、サンウのいたずら

弱点です。 おばあちゃんに側にいてもらう 気なサンウが、夜中に一人でト ずらを繰り返すサンウの唯一の シーンは、かわいげの無いいた イレに行くことができないため、 やり田舎に連れてこられた生意 母親の職探しのために、無理

暖かさは、ひねくれたサンウの おばあちゃんの愛情と、村人の にいざなっていきます。いつし い哀愁を帯び、観客をふるさと さに満ち溢れ、なんともいえな 心を少しずつほぐしてくれます。 す。緑あふれる田舎の風景と、 と、ほっとさせられるシーンで やっぱり子どもなんだ・・・ おばあちゃんの顔が、やさし

にふさわしい、名演技・・・い る映画を撮りたかった」と語る 監督が「おばあちゃんに感謝す スティングと知って驚きました。 監督が一目で気に入ってのキャ 地に住んでいたおばあちゃんを、 てくれます。 名女優かと思っていたら、ロケ そんなおばあちゃんですから

のある作品です。 のだったのかも・・・。 て、じんわりと心に響き味わい ンとCGが売り物の作品と違っ ・・・・など、派手なアクショ ー、チャーリーズエンジェルス マトリックス、ターミネータ おばあちゃんの生活そのも

シネマ5で九月十三日から上映



### お 知 5 せ

出

### 八月月例山行の

目的地 月 日 蛇越岳 (1024m)、 野川との分水嶺) の上)(野上川と花合 石山 (1024.5m) 八月三一日 (日) (小田ノ池、立石池 立

か自分のおばあちゃんを思い出

し、子どもの頃をよみがえらせ

出

午前六時〇〇分サニ

から百名山へ』

装 備 がヤブこぎです。そ さほど長くないです れなりの装備を・・。 -出発

らせています 定表とは違います。 × 四月の総会の予 一週間遅 · 価格 八六一円

·新書版 入りです。

(内税

### 九月月例山行の

目的地 月 九月二一日(日) 黒岳 (891.1m)、 川と日出生川との分 木山(794.5m) (日出生台) 黒

· · 行 出 時間が有れば近くの 午前六時サニー出発 ましょう。 玖珠山にも登ってみ

# 十月月例山行の

月 ·目的地 H 十月一九日 (日) 竜ガ鼻 (680.6m)

川との分水嶺) (平尾台)(紫川と長峡 午前五時サニー出発

× 局までお知らせ下さい。 間前までに参加の有無を事務 いずれの場合も出発の一调

ご案内

り日時が変更になりました。
吉氏との懇親会は、都合によ しました日本山岳会長平山善 事務局より葉書でお知らせ

時月 刻日 午後五時三〇分八月七日(木)

場所

(府内五番街

出席される方は八月 局へご連絡下さい。 四日夕方までに事務

絡下さい。重廣さんのサイン購入希望者は事務局までご連 0 0 の方が花が多かったようだし、 マも少し花が戻ってきたよう はいたるところは花の数より アケボノツッジも今年は昨年 でした。でも休日の九重の山 人の数であったとか・・・。 シャクナゲも昨年より今年 今年は九重のミヤマキリシ

間違いないようにご注意下さい。

・会費 出欠 四,000円 TEL097-536-5611

> うやく明けました。夏山シーズ 0 ン到来。今年も会員の夏山便り もしれません。・・・以上花 もガマズミも良く咲いていま とは思いませんか。エゴノキ ミツバツツジが特に目立った 便りから・・ した。今年は花の当たり年か より見事でした。 それよりも今年はなぜか、 例年より長かった梅雨もよ

をお待ちしています。 K I

### 日本山岳会東九州支部報 2 2

2 0 3年 (平成15年) 0 7月25日(金)

梅 木 秀飯 田 勝 〒870-0021 発行者 編集者 徳之 発行所

・市府内町1-3-16 サニースポーツ内 西 孝子 TEL・FAX 097-532-0926 大分市府内町1